

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 1 3 6 号	
件 名	柏崎刈羽原発の緊急時に係る長岡方面からの避難及び新潟市民が災害時に助けを求めて名簿を提出した市の受理について	
要 旨	<p>長岡方面からの住民は、18万人以上が新潟市方向に避難予定。県は新潟市が避難経路所を開設、設置すると言う。市はどこに避難経路所を開設するのか、開設準備はどこが担当なのか、ノウハウはあるのか、何名くらいで予定しているのか。避難民に避難路地図、避難場所、病院等を案内、誘導するという。原発再稼働が決定しました。準備はどこまでできているのでしょうか。駐車場、一般車、バス、福祉施設、福祉車両、救急病院の確認等、防災課は新潟市民と情報の共有をしてほしい。長岡から630台の大型バスが新潟市に避難、長岡で避難前に放射線物質の避難退域時検査を2日間ほど、自衛隊、東京電力、県が担当。市は、検査を受けずに急いで避難した住民の検査を避難経路所で行うのか、検査機器は保有しているのか、それとも検査場所をどこか数か所に設置する予定なのか。新潟交通も避難応援に出動予定というが、出動したバス、一般路線バスだったら路線は休日ですか。県に質問すると、新潟市が調整するケースだと何回も言われました。</p> <p>放射線物質が多いときには、新潟市民への安定ヨウ素剤の手配、配布はどのようになっているのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">(次頁につづく)</p>	
付 託 年月日 委員会	令和8年2月17日	第1項 } 第6項
受 理	令和8年1月15日	第531号

総務常任委員会

長岡市民を各区の大型施設へ誘導、開放、避難所施設として設置するのもいいけれど、新潟市民は複合災害時、どこの大型施設に避難すればいいのか公表してほしい。避難路が破壊、破損、復路はあるのか、設定しているのか。県は市と調整と言う、新潟市民を最優先した避難方法を考えるべき、市民を守るべき対策、道路渋滞等、考えてほしい。複合災害時には、議員さんも避難民になります。市の言うような調整、何も進みません。長岡方面から避難される災害時要支援者名簿は、誰がどのように確認するのでしょうか。

次に新潟市民が災害時の助けを求め、行政に提出した避難行動要支援者名簿を放置している。障がい者、傷病者、自力で避難が困難な方々の避難支援、安否確認などが可能となる災害対策基本法がある。現状、自主防災組織、社会福祉協議会、消防団へ、助けを求めている要支援者名簿を配付していない。配付は警察、消防署、自治会長のみとしている。災害時に一声かけてほしいから、助けてほしいから、記入して行政に提出している。ところが、自治会が受け取りを拒否している。記入した名簿、申請した名簿が宙に浮いて放置されている。また、自治会が用紙を記入しても、避難計画、個別避難計画が作成できないから、行政に返送しない。どうすればいいのでしょうか。宙に浮いたままです。何もしない行政、困ります。

自治会が自主防災組織を結成していない。名簿を記入して行政に提出した要支援者はどうなるのでしょうか。自治会ができないから放置しています。どのようにすべきか、はっきりと、いつまでも宙ぶらりんにしないでほしい。災害時に避難ができないから、一声かけてほしいから、名簿を記入、提出しています。

よって、以下のことを陳情いたします。

(次頁につづく)

記

- 1 複合災害、原発事故が発生しても、大型避難場所は長岡市民より新潟市民を最優先すること。
- 2 避難経由所はどこに設置する予定なのか、630 台の大型バスや避難車両の駐車場所を公表すること。
- 3 長岡方面から避難退域時検査を受けずに避難してくる住民の受入れ体制は、また新潟市民への安定ヨウ素剤の配布予定を公表すること。
- 4 避難行動要支援者名を記入し行政に提出、受理された名簿を宙に浮いたままにしないこと（新潟市民）。
- 5 名簿を記入して申請を受理されたのに、自治会が行政からの配付を拒否している、支援を放棄され宙に浮いている、要支援者に支援できないことを説明すること（新潟市民）。
- 6 自主防災組織未結成自治会、行政から名簿リストを受理しても返送しない自治会、放置しないで早急に措置すること（新潟市民）。